



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社 ソノコム
 コード番号 7902 URL <http://www.sonocom.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部長
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 高木 清啓
 (氏名) 宮寺 利宗
 TEL 03-3716-4101

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,106	△5.2	162	△31.8	193	△33.5	119	△46.1
2018年3月期第2四半期	1,166	20.4	238	35.0	290	54.2	221	38.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	32.61	—
2018年3月期第2四半期	60.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	8,735	7,789	89.2	2,125.48
2018年3月期	8,660	7,643	88.3	2,085.43

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 7,789百万円 2018年3月期 7,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	△0.3	320	△15.3	350	△20.6	260	△19.8	70.94

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	5,000,000 株	2018年3月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,335,036 株	2018年3月期	1,335,036 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	3,664,964 株	2018年3月期2Q	3,664,964 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移しましたが、相次ぐ自然災害により経済への影響が懸念されます。一方世界経済は、米国の保護主義的な通商政策による各国との貿易摩擦等、世界経済への先行きに対する懸念が広がりました。

当社が属するスクリーン印刷用製版業界におきましては、主要顧客である電子部品業界において、スマートフォンや自動車関連の各種電子部品は堅調に推移しましたが、一方で太陽電池関連や有機EL等のディスプレイの生産が伸び悩みました。

このような状況のもと、当社におきましては、営業・製造・技術が一体となり、高精度製品の安定生産、生産効率の向上に取り組んでまいりました。

その結果、売上高につきましては、製品売上高9億59百万円（前年同期比12.2%減）、商品売上高1億46百万円（前年同期比95.8%増）となり、売上高合計11億6百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

利益面におきましては、製品売上高の減少の影響が大きく、営業利益1億62百万円（前年同期比31.8%減）、経常利益1億93百万円（前年同期比33.5%減）、四半期純利益1億19百万円（前年同期比46.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①スクリーンマスク

当セグメントにおきましては、表示素子用の一部の製品の売上が減少した結果、売上高8億31百万円（前年同期比7.7%減）、セグメント利益2億96百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

②フォトマスク

当セグメントにおきましては、有機EL等の表示素子の売上が減少した結果、売上高1億27百万円（前年同期比33.0%減）、セグメント利益33百万円（前年同期比63.0%減）となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、印刷機や検査装置等の設備関連の売上が増加した結果、売上高1億46百万円（前年同期比95.8%増）、セグメント利益21百万円（前年同期比56.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は43億85百万円となり、前事業年度末に比べ1億15百万円減少いたしました。固定資産は43億50百万円となり、前事業年度末に比べ1億91百万円増加いたしました。この結果、総資産は87億35百万円となり、前事業年度末に比べ75百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は5億55百万円となり、前事業年度末に比べ65百万円減少いたしました。固定負債は3億90百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円減少いたしました。この結果、負債合計は9億46百万円となり、前事業年度末に比べ71百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は77億89百万円となり、前事業年度末に比べ1億46百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は89.2%（前事業年度末は88.3%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて75百万円減少し、35億64百万円（前年同期 33億88百万円）となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、前年同期比9.9%減の1億51百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額80百万円があったものの、税引前四半期純利益1億95百万円や、売上債権の減少額66百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は、前年同期比17.7%減の1億95百万円となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入1億円があったものの、投資有価証券の取得による支出2億9百万円や、有形固定資産の取得による支出87百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は、前年同期比42.0%増の36百万円となりました。これは、配当金の支払額36百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,500,161	3,519,906
受取手形及び売掛金	730,300	664,296
有価証券	139,891	44,644
商品及び製品	3,336	3,408
仕掛品	44,628	48,937
原材料及び貯蔵品	69,713	66,601
その他	12,888	37,248
流動資産合計	4,500,921	4,385,043
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	603,894	603,089
機械及び装置（純額）	86,426	73,456
土地	1,390,510	1,390,510
その他（純額）	32,880	36,530
建設仮勘定	—	36,500
有形固定資産合計	2,113,712	2,140,087
無形固定資産	15,774	21,454
投資その他の資産		
投資有価証券	1,575,987	1,732,352
その他	453,909	456,927
投資その他の資産合計	2,029,897	2,189,279
固定資産合計	4,159,384	4,350,821
資産合計	8,660,305	8,735,864
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	273,488	267,582
未払法人税等	94,069	76,128
引当金	60,302	47,517
その他	192,587	164,163
流動負債合計	620,447	555,391
固定負債		
退職給付引当金	14,591	2,809
役員退職慰労引当金	382,257	387,857
固定負債合計	396,848	390,666
負債合計	1,017,296	946,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	925,750	925,750
資本剰余金	1,405,550	1,405,550
利益剰余金	6,144,964	6,227,828
自己株式	△825,151	△825,151
株主資本合計	7,651,112	7,733,976
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,103	55,829
評価・換算差額等合計	△8,103	55,829
純資産合計	7,643,008	7,789,805
負債純資産合計	8,660,305	8,735,864

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
売上高	1,166,944	1,106,135
売上原価	694,573	717,711
売上総利益	472,370	388,423
販売費及び一般管理費	233,429	225,465
営業利益	238,941	162,958
営業外収益		
受取利息	15,136	16,490
投資有価証券償還益	31,972	—
為替差益	2,613	12,016
その他	1,794	1,965
営業外収益合計	51,517	30,472
営業外費用		
その他	31	401
営業外費用合計	31	401
経常利益	290,427	193,030
特別利益		
受取弁済金	8,129	2,883
特別利益合計	8,129	2,883
税引前四半期純利益	298,557	195,913
法人税、住民税及び事業税	57,965	64,964
法人税等調整額	18,721	11,435
法人税等合計	76,686	76,400
四半期純利益	221,870	119,513

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	298,557	195,913
減価償却費	44,888	41,859
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,947	1,215
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,112	5,600
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,600	△11,782
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,000	△14,000
受取利息及び受取配当金	△15,858	△17,303
為替差損益 (△は益)	△2,613	△12,016
投資有価証券償還損益 (△は益)	△31,972	—
受取弁済金	△8,129	△2,883
売上債権の増減額 (△は増加)	△264,930	66,004
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,960	△1,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	152,634	△5,905
その他	14,538	△33,412
小計	186,812	212,019
利息及び配当金の受取額	16,498	17,041
弁済金の受取額	8,129	2,883
法人税等の支払額	△43,366	△80,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,074	151,378
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△112,740	—
有形固定資産の取得による支出	△26,852	△87,653
無形固定資産の取得による支出	△15,010	△7,820
投資有価証券の取得による支出	△190,709	△209,735
投資有価証券の売却による収入	—	14,814
投資有価証券の償還による収入	110,800	100,000
その他	△2,601	△4,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,114	△195,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△25,701	△36,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,701	△36,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,613	4,726
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△92,126	△75,502
現金及び現金同等物の期首残高	3,480,775	3,640,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,388,648	3,564,551

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自2017年4月1日 至2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	900,776	191,091	1,091,868	75,076	1,166,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	900,776	191,091	1,091,868	75,076	1,166,944
セグメント利益	327,927	91,520	419,447	13,656	433,104

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	419,447
「その他」の区分の利益	13,656
全社費用（注）	△194,163
四半期損益計算書の営業利益	238,941

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	831,161	127,983	959,145	146,990	1,106,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	831,161	127,983	959,145	146,990	1,106,135
セグメント利益	296,341	33,895	330,237	21,416	351,653

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	330,237
「その他」の区分の利益	21,416
全社費用（注）	△188,695
四半期損益計算書の営業利益	162,958

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。